

## 産業まつり 立地適正化計画オープンハウス形式説明会 報告書

日 時	
① 令和5年11月11日(土曜日) 午前10時30分から午後3時30分まで	
② 令和5年11月12日(日曜日) 午前10時から午後3時30分まで	
場 所	
場所：瑞穂ビューパーク競技場及びスカイホール	
内 容	
<p>(パネル1) 「立地適正化計画」とはどのような計画なのか？</p> <p>(パネル2) 「瑞穂町都市計画マスタープラン」のP47の土地利用方針図を展示し、今後策定する立地適正化計画と整合性があるものだとすることを明示する。</p> <p>(パネル3) 「コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり」についての図、説明を展示し、モノレール駅周辺の新たな拠点づくりと公共交通の充実について明示する。</p> <p>(パネル4) 町の現況（施設分布状況、自然災害ハザード情報など）</p> <p>&lt;アンケート&gt;</p> <p>(アンケート1) 中心拠点や地域拠点にどのような施設が必要か？</p> <p>(アンケート2) 自然災害に対する取組として重要なことは？</p>	
来場者	(アンケート回答者)
令和5年11月11日(土曜日)・・・82名（内20歳以下 5名）	
令和5年11月12日(日曜日)・・・94名（内20歳以下 16名）	
合計 176名（内20歳代以下 21名）	
アンケート結果	
別紙のとおり	
自由意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・武蔵地区の市街化編入を早くすべき。（60代以上男性）</li> <li>・殿ヶ谷区画整理を早く完了させてほしい。（60代以上男性）</li> <li>・モール瑞穂が無くなって不便。（40代男性）</li> <li>・病院前を通るコミバスが少ない。（60代以上女性）</li> <li>・福3・5・17号線の立体交差がどうなるかが知りたい。（30代男性）</li> </ul> <p>→西多摩建設事務所を紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災無線が聞こえづらい。（50代）</li> <li>・基地の下を通る道路が欲しい。（50代）</li> <li>・モノレール6駅の駅名を住民募集でお願いしたい。又、名称は他地域の人でもわかる駅名を望みます。（60代以上男性）</li> <li>・車でないと買い物に行けない。（60代以上女性）</li> <li>・災害時における避難誘導方策が必要。特に国道16号による災害時の分断が心配。（60代以上女性）</li> <li>・コミバス180円は高い。（60代以上女性）</li> <li>・まちづくりに関して、体育館施設の建設が決まっているのか。（町議会議員）</li> </ul> <p>→まだ決まっていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モノレールの計画線は都市計画図に反映させるのか。（町議会議員）</li> </ul> <p>→都市計画決定したら図面に反映させる。</p>	

## 総 括

- ・アンケートを記述式ではなくシール方式にしたことによって、予想以上の回答者数が得られた。
- ・アンケート回答者にブースの奥に設置した立地適正化計画についてのパネルの説明をすることが難儀だった。
- ・以上のことから、誘導施設の設定や防災指針の施策に関する参考情報は得られたと考えられるが、立地適正化計画の内容を住民の方に理解していただくには、まだまだ十分とは言えないと感じた。したがって、ブース内に展示した立地適正化計画に関するパネル4枚を庁舎、コミセン3か所に一週間ずつ展示していく計画を立てたい。（以下のとおり）

## 今後の予定

- ・今回のアンケート結果を、現状分析及び課題の整理に加える。また、今後の都市機能誘導施設の設定や防災指針の施策の参考とする。

### 【町公共施設での立地適正化計画パネル展示】

< 期間 >

令和5年度中（各箇所一週間程度）

< 場所 >

瑞穂町役場、むさし野・長岡・元狭山コミュニティセンター

# 立地適正化計画について

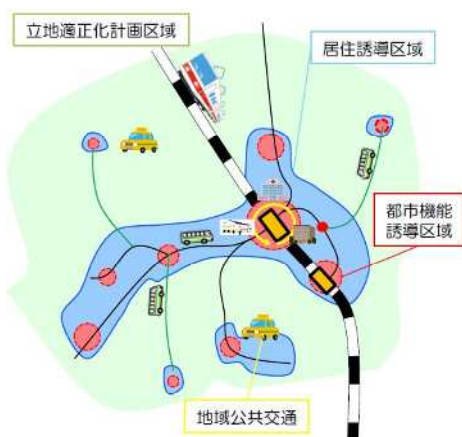
～瑞穂町のまちづくり～



**立地適正化計画**ってどんな計画なんだろう？



町民が便利な生活を送るために必要な施設や、住宅などに対して、一定の範囲内に立地することを誘導し、コンパクトなまちづくりを進める計画です。



## 都市機能誘導区域

医療・福祉・商業等の都市機能を都市の中心拠点や生活拠点に誘導し集約することにより、これらの各種サービスの効率的な提供を図る区域を定める

## 居住誘導区域

人口減少の中にあっても一定エリアにおいて人口密度を維持することにより、生活サービスやコミュニティが持続的に確保されるよう、居住を誘導すべき区域を定める

## 公共交通

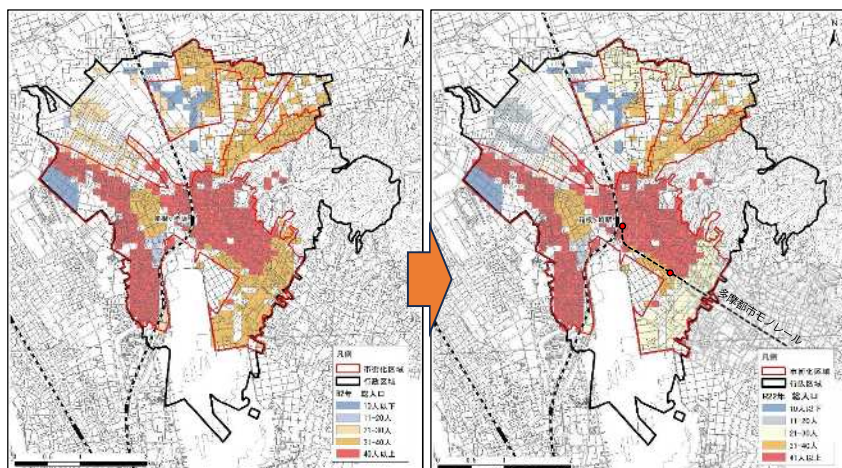
都市機能誘導区域にアクセスしやすくする公共交通のあり方を定める



どうして**立地適正化計画**をつくるの？



瑞穂町の人口は、平成 17（2005）年をピークにしばらく横ばい状況が続いていましたが、令和 2（2020）年以降は減少傾向が続くと推計されています。



【令和 2 年】



【令和 22 年】

瑞穂町の人口推計

## 人口減少・高齢化が進むと…

- 例えば、
- ・まちなかのお店が減るなど、まちの活気や賑わいが失われる
  - ・バスの廃線や減便により、生活の利便性が低下する
  - ・空き家が増えて、地域の治安が乱れる

などの問題が起きることが想定されます。

**コンパクトで利便性が高く、魅力あるまちづくりが求められます。**

## 瑞穂町では「地域の特性を生かしたまちづくり」を進めます！



- ・瑞穂町では「瑞穂町立地適正化計画」の策定に取り組んでいます。
- ・人口減少・超少子高齢社会の進展や都市機能の低下、公共施設の維持更新費用の増大が懸念される中、厳しい財政状況下にあっても、効率的かつ持続可能な都市経営を可能とするため、コンパクト・プラス・ネットワークの考え方により、集約型都市構造（コンパクトシティ）の形成を推進します。



# 瑞穂町都市計画マスタープランについて

～瑞穂町のまちづくり～



都市計画マスタープランってどんな計画なんだろう？

都市計画マスタープランとは、都市計画法第18条の2に規定する「市町村の都市計画に関する基本的な方針」として、瑞穂町の**まちづくりの将来都市像**を描いたものです。

「瑞穂町都市計画マスタープラン」は、今後策定する「**瑞穂町立地適正化計画**」の上位の計画となります。



## 将来都市像（瑞穂町がめざすまち）

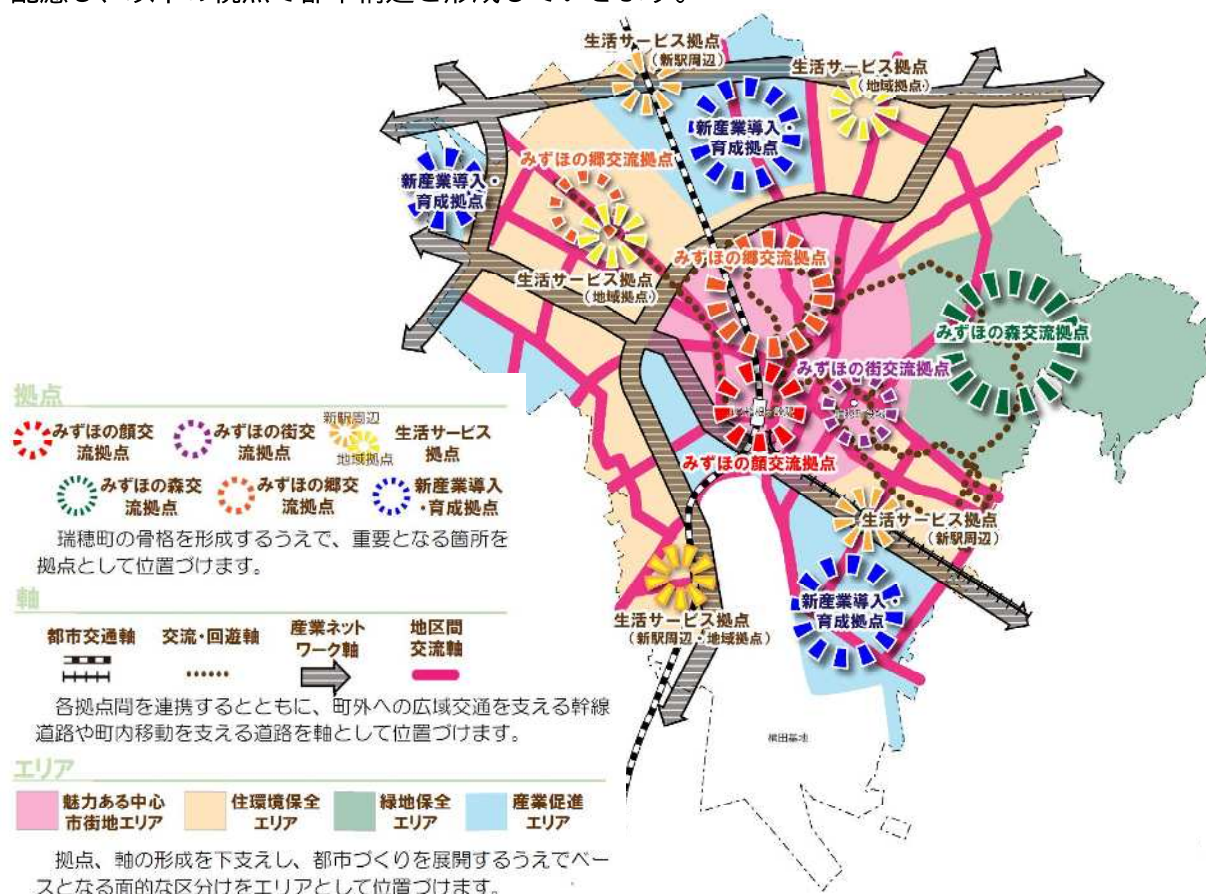
- ・ 新たな人や物の流れを生かした、産業・観光振興による人の交流を促す
- ・ 町外から人・物を誘導するとともに、地域特性を生かすことで瑞穂町に潜在する力を呼び起こし、活力を創出する

といった願いを込めるとともに、都市計画マスタープランはそれを実現するための「未来都市構想」であることを示す言葉として、以下を瑞穂町の将来都市像とします。

**新たな流れを創出する都市 瑞穂 ～未来都市構想～**

## 将来都市構造

将来都市像の実現をめざし、瑞穂町全体としてのあり方（都市構造）を定めます。瑞穂町の地域特性をふまえるとともに、それぞれの位置づけが相互に連携・強化するように配慮し、以下の視点で都市構造を形成していきます。



# 瑞穂町の公共交通について

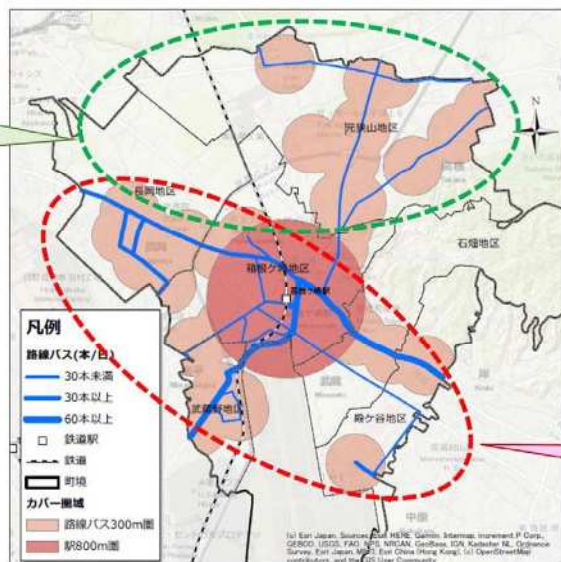
～瑞穂町のまちづくり～



瑞穂町の公共交通はどんな状況なんだろう？



路線バスでカバーできない範囲が広い



青梅街道よりも南部の地域は駅やバス停の利用圏域に多くの地域がカバーされていますが、北部の地域は路線バスでカバーできない範囲が広いことから、だれもが**利用しやすい移動手段を確保**することが必要となっています。

路線バス網が充実

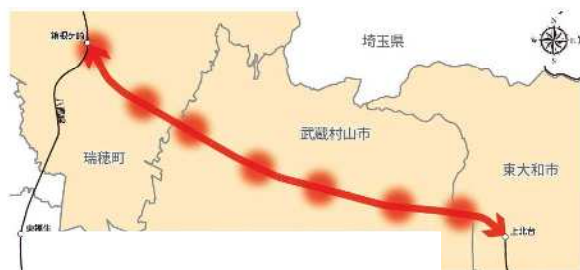
資料：瑞穂町地域公共交通会議資料

## 瑞穂町ではコンパクト・プラス・ネットワークの形成を目指します！！

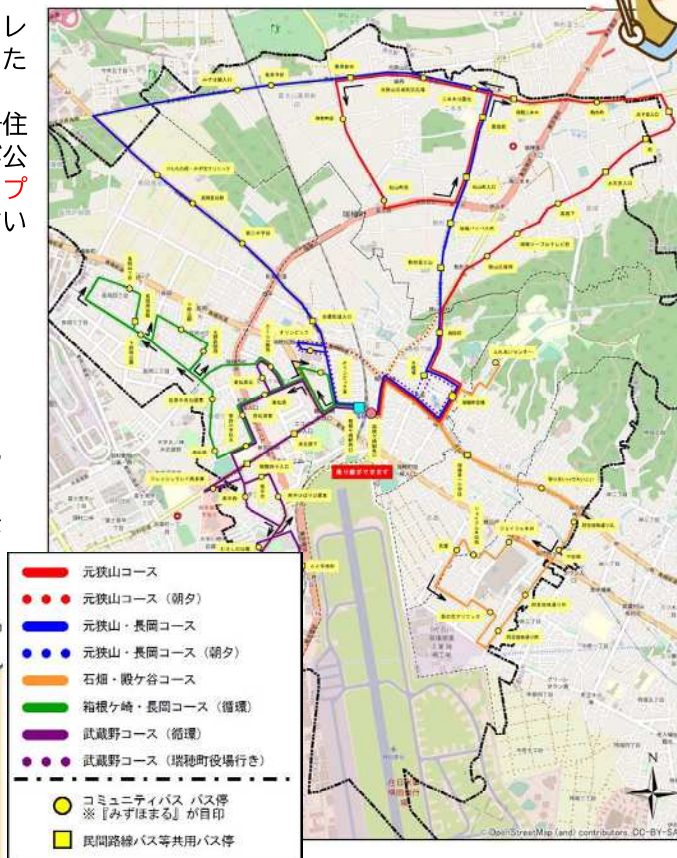
- ・ JR箱根ヶ崎駅周辺を結節点として、鉄道、モノレール、バス、タクシーといった公共交通が連携した**公共交通ネットワークの形成**をはかります。
- ・ 医療・福祉、子育て支援、商業等の都市機能や居住等がまとまって立地した拠点を形成し、多世代が公共交通により拠点間を移動できる「**コンパクト・プラス・ネットワーク**」により、便利で暮らしやすいまちづくりを進めていきます。

## 多摩都市モノレール沿線のまちづくりを推進します！！

- ・ 多摩都市モノレールの延伸に必要な財源の確保や沿線の土地の高度利用に向けた取組などにより、早期事業化を促進するとともに、延伸と一体となったまちづくりをすすめます。



モノレールの延伸区間イメージ



コミュニティバスのルート  
(※令和5年4月～)



# 瑞穂町の現況について

～瑞穂町のまちづくり～

## 施設分布状況

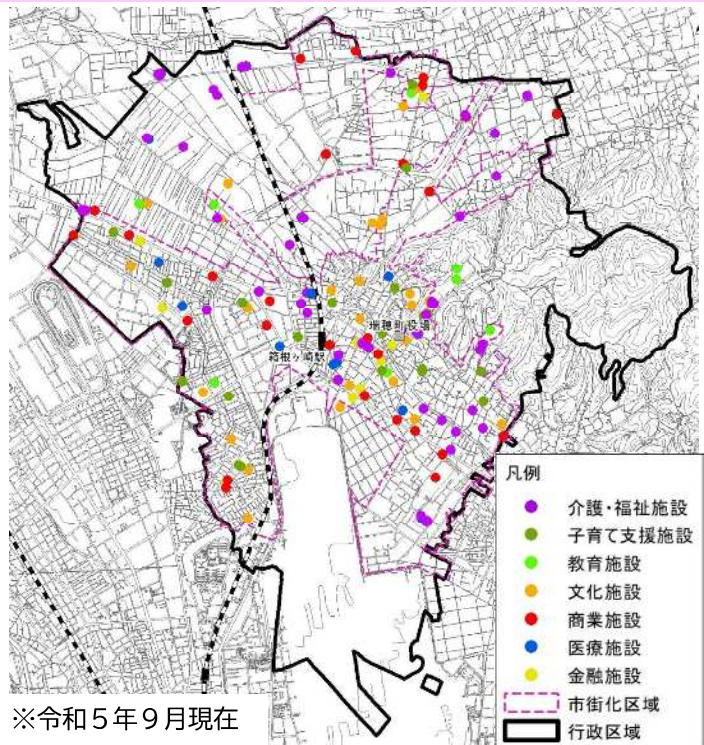


瑞穂町には、福祉施設や文化施設、医療施設など多くの施設が分布しているね。

そうですね。この施設をすべての町民が利用しやすいように維持していくことが大事だね。



どうすれば町民のみんなが快適に生活できるか、みんなで考えてみよう。



- 凡例
- 介護・福祉施設
  - 子育て支援施設
  - 教育施設
  - 文化施設
  - 商業施設
  - 医療施設
  - 金融施設
  - 市街化区域
  - 行政区域

## 防災情報（瑞穂町防災ハザードマップ）

瑞穂町 防災ハザードマップ  
Minocho Town disaster prevention hazard map  
瑞穂町防災ハザードマップ  
Mapa de prevenção de desastres da cidade de Minocho



瑞穂町の自然災害の危険性はどうかっているの？



瑞穂町には残堀川の氾濫による浸水想定区域が指定されています。このような町のハザード情報を踏まえたまちづくりが必要となっています。



資料：瑞穂町防災ハザードマップ

## 瑞穂町まちづくりアンケート集計結果

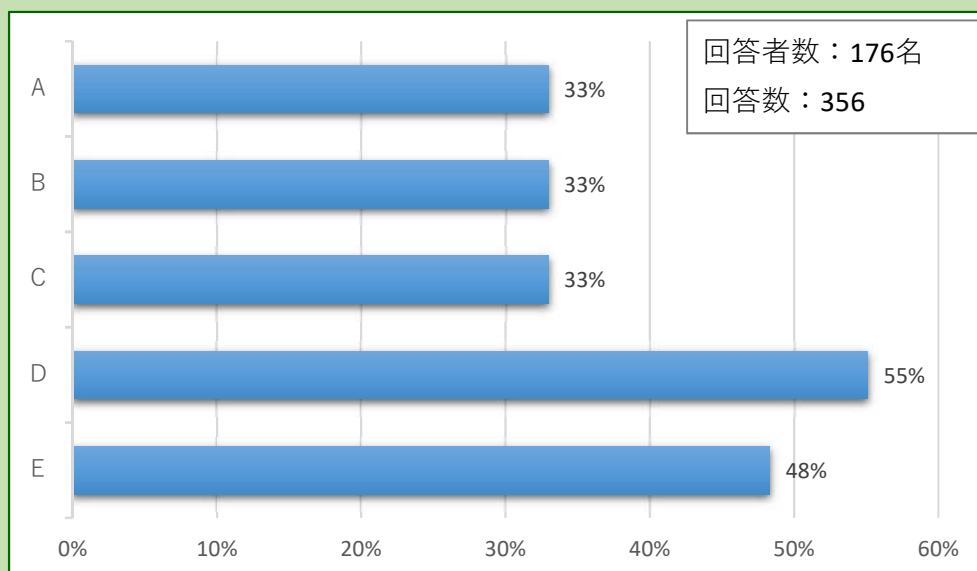
アンケート回答者数		
11/11(土)	11/12(日)	合計
82名	94名	176名

アンケート回答方式
各設問 2 つまで選択

### 瑞穂町まちづくりアンケート①

設問：瑞穂町では今後、町の中心地や拠点となる地域に、どのような施設が、維持され、充実していくと良いと思いますか？

A：高齢者や障がい者等の生きがい、豊かな生活に寄与する介護・福祉施設	58
B：子育て世代を支援する子育て支援施設	58
C：町民の地域交流、スポーツ等の都市活動を支える文化施設 例) 交流センター、スポーツ施設、図書館など	58
D：町民の生活利便性や来訪者へのサービス、本町内への雇用創出などに寄与する商業施設 例) 大型小売店舗など	97
E：町民に安心して安全な医療サービスを提供する医療施設 例) 病院、診療所など	85



- ・モール瑞穂(大型商業施設)がなくなったことにより、スーパーなどの商業施設を望む声が多かった。

## 瑞穂町まちづくりアンケート②

設問：瑞穂町では自然災害に対する取組として、どのようなことが重要だと思いますか？

A：水害対策（河川の治水、浸水対策などの水害対策など）

54

B：道路拡幅（災害時の物資や避難経路の整備・機能強化など）

68

C：住まいの防災対策の支援（耐震診断、耐震グッズの購入補助など）

51

D：地域コミュニティの防災力向上（自主防災組織の充実、防災訓練の実施など）

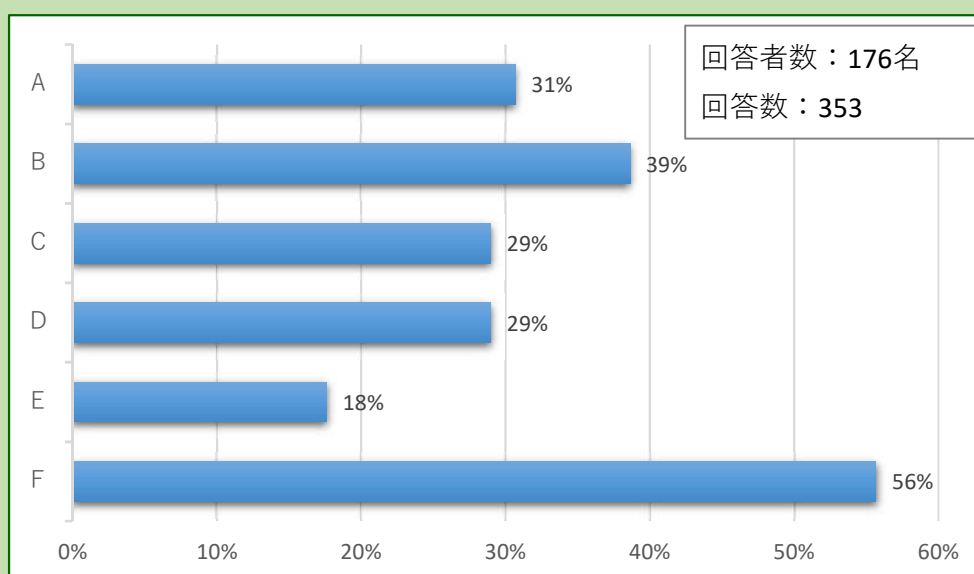
51

E：防災情報の提供（防災マップ・防災アプリの提供など）

31

F：高齢者など、自力での避難が困難な人への支援体制の充実

98



- ・超高齢化といった危機感が住民にも浸透しているものと思われる結果となった。



